

山行報告書

作成:2006年3月8日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	長野オリンピッククロスカントリーコース・岩岳スキー場	目的[方法]	クロスカントリーとスキーを楽しむ
期間	2006年3月4日(土)5日(日)	形態	1泊2日
参加人数	5人		

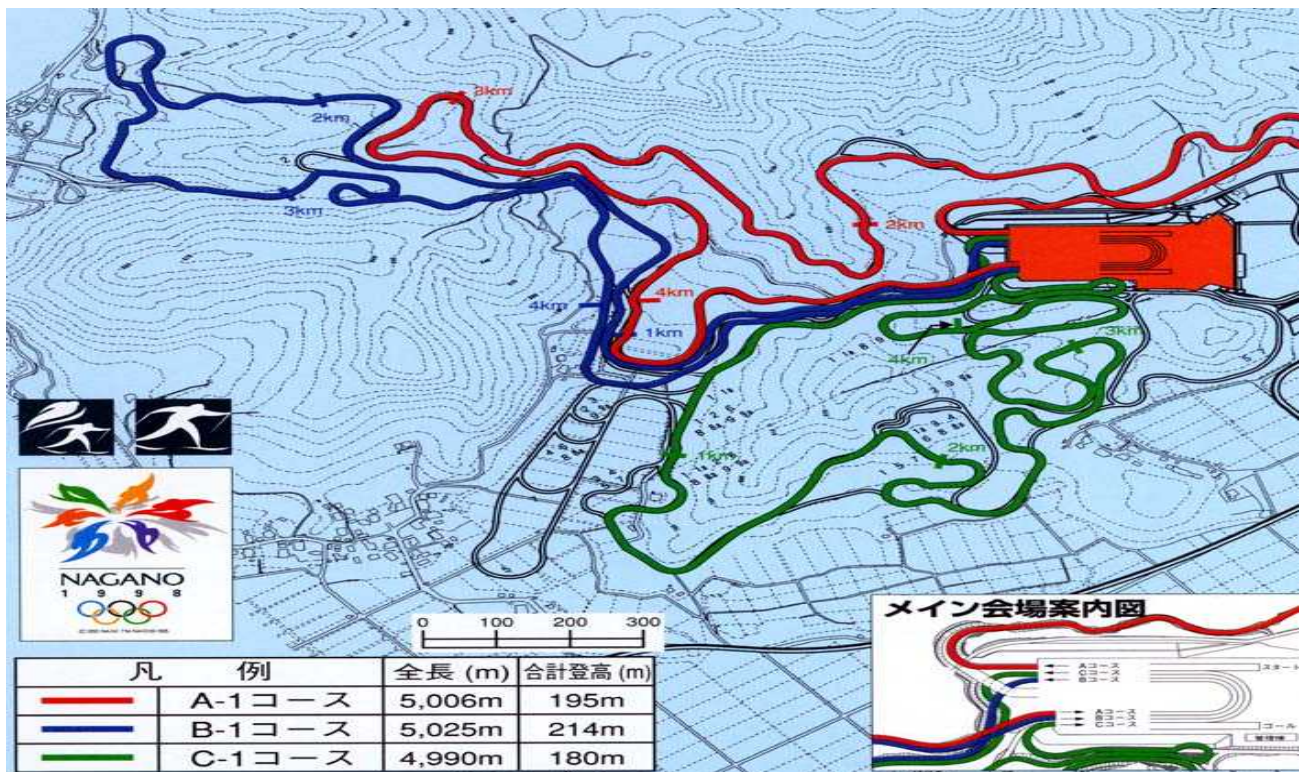
行動記録:

3/4(土) 晴天、

岩津市民センター(6:00) 2:00 - 153号 飯田IC(8:00) = 1:30 = 松本IC(9:30)-19号 -1:35-白馬クロカン場 (11:05.....16:15) -0:55-ペンションブリッジ(17:10)

3/5(日) 晴天

ペンションブリッジ(8:30) - 0:10 - 白馬岩岳スキー場(8:40.....12:30) 岩岳温泉(12:50)13:35-松本IC =駒が岳SA(15:45)16:05 =飯田IC - 153号 岩津市民C(18:50)



長野オリンピック クロスカントリー会場図

日誌:2月にしては平年より高い気温と好天のせい、多量に降った雪も解け始めた。目的地も当初の美ヶ原から少し北に上がった白馬方面に変更された。出発の2日前から寒波が押し寄せ、当日も車の前面が凍る寒さであった。

6:00に岩津を出発。153号線を一路飯田に向けひた走る。霜があり山の風景はうっすらと薄化粧。飯田から中央道に入り、松本で降りる。遠くに木曽駒、宝剣岳が白い。松本から19号線に入るが少し渋滞で白馬クロカン会場に11:05に到着。8年前の長野オリンピック萩原選手の晴れの姿を見た会場である。山スキー、ショートスキー、ノーマルスキーとクロカン会場なのにみんなさまざまなスキーの板で会場に繰り出す。そばを、タイツに身を包んだスマートなアスリートが優雅に走り抜ける。NさんとSさん以外はほとんど初心者に近いメンバー。滑れば怖いし、滑らなければ進まないしの矛盾と戦いながら一番簡単と思われるCコースに入る。途中、シールを付けて歩くが、おかげで滑りが全く悪くなり、足の筋力トレーニングになる。(滑ったら滑ったで転げて大変なんです) やつとこのことでスタート地点に着いたら、リーダー曰く、「今回はAコース」皆、無言で追随。しかし、このコースは絶景、絶景のコースで、白銀に輝く白馬三山、唐松、五竜を眺めることができた。途中急な下りに初心者3人は転げながらも大変満足感が味わえた1日であった。

2日目は、どんぐり村ペンションの方の紹介で3000円のリフト乗り放題、昼食つき、温泉半額のチケットを購入し、白馬岩岳スキー場に出掛けた。御歳?オでスキー初挑戦のHさんの果敢な滑りに乾杯。午前中滑り、腕?を上げ帰りに岩岳温泉に入り岐路に付く。(この温泉はなかなかよい)

感想:本格クロカンの方の優美な姿に、クロカンとの距離を感じる。しかし、景色を楽しみながら歩くクロカンの魅力も捨てがたいと感じた。スキーも少し上手くなった。